eLAつうしん
ラインズｅライブラリ
2026年10月号 Vol.278



徳島県小松島市立 小松島南中学校（こまつしまみなみ）

学習リズムを整え、基礎基本の定着を図る
～朝学習でラインズｅライブラリを活用～

元気の良いあいさつが校内に響き渡る小松島南中学校では、生徒・先生が互いに敬う心を大切に学校生活を送っています。今回は、朝学習でラインズｅライブラリを活用した実践をご紹介します。

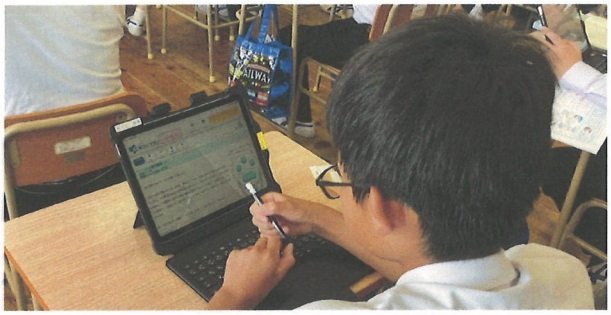
自分で学び方を考え、主体的に取り組む　1年全クラス



▲「自由学習」から学び方を選んで復習する

定期試験前のこの日の朝学習は、「一斉自由学習」を使って、既習範囲を復習します。自分で復習範囲を決めてから、学び方を考え、学習を始めました。生徒は、「テスト対策」のおすすめ教材に取り組んだり、「タイルマップ学習」の色のついていないタイルにチャレンジしたり、自身が効率よく復習できる方法で真剣に取り組んでいました。

自分の達成状況と向き合い、適切な問題を選ぶ


▲「読解スキル養成ドリル」で読解力をつける

学習する教材の選び方も生徒によってさまざまです。読解の練習をする生徒は、「読解スキル養成ドリル」を選び、文脈を意識しながら問題を解きます。また、「思考力育成問題」に取り組む生徒は、問いの条件を整理し、グラフや図を書きながら、工夫して問題を解いています。学習結果から、自身の達成状況と向き合い、自分に合った問題を選んで学習を進めていました。

インタビュー　生徒の特性に合った最適な運用！学習意欲向上



ラインズｅライブラリを活用するために、[illegible]先生が中心となり、研修会や議論を重ね、教員が一丸となって、最適な運用方法を検討してきました。

朝学習での運用が始まり、生徒が学習している様子を見ていると、意欲的に取り組む姿が多く見られるようになったと感じています。生徒はタブレットを使った学習に慣れているため、**ラインズｅライブラリを使うことで、やる気のスイッチが入り、真剣なまなざしで学習しています。また、紙教材に文字を書いて学習することが苦手な生徒も、興味関心をもって学習するようになりました。**

テンポよく問題に取り組めるところが集中力向上へ



本校では、朝学習の15分間を「黙って、落ち着いて、集中する時間」と位置づけ、落ち着いた学校生活を送れるようにするというねらいがあります。従来は紙の問題集を使っていましたが、教員の確認時間と教材費用がかかっていました。そこで、ラインズｅライブラリの活用を検討することになり、2年生の教員を中心に、**生徒の状況と教員の負担の側面から運用・検証を重ねてきました。その結果、テンポよく問題に取り組めることが集中力の向上につながっているとわかり**、1年生も定期試験前の朝学習で活用することになりました。